



▼今月の九州大会に向けて練習に励む成田さん（写真左）と田中さん（右）



ソフトテニスで九州大会へ

成田和香奈さんと田中須々さんが活躍

10月25日（土）熊本市で行われた県中学生新人ソフトテニス大会で、ダブルスに出場した成田和香奈さん（上田口区・甲佐中2年）、田中須々さん（津志田区・同中2年）のペアが九州大会出場を決めました。

96組が出場した同大会で、同ペアは予選リーグで本渡中と西山中の2チームと対戦。順調に勝ち進み、予選1位で通過しました。

決勝リーグでは、水俣一中と対戦し3・2で勝利。玉名中には0・3で惜敗しましたが見事ベスト16に入賞し、12月26日（金）に同市

で開催される第29回九州ジュニア選抜インドアソフトテニス大会への出場が決定しました。

前衛の田中さんは「成田さんは短いボールも拾ってくれてフォロワーが上手です」、「田中さんは、スマッシュやボレーをしっかりと決めてくれるので頼りになります」と後衛の成田さんは話し、チームワークの良い2人の活躍が期待されます。

あこがれの球場で白球を追う

本町出身3人がマスターズ甲子園に出場

11月15日（土）～16日（日）兵庫県の甲子園球場で行われた「マスターズ甲子園2014」に、福田洋平さん（上早川2区）、甲斐敬大さん（岩下2区）、倉岡大さん（同区）が出場しました。

同大会は、生涯スポーツとして野球文化を発展させ、現役高校球児に向けた応援メッセージを発信することを目的に開催。出身校別に同窓会チームを結成し試合が行われ、3人は東海大星翔高OBとして出場し、大阪府の天王寺高チームと対戦し活躍しました。



▲甲子園球場で試合を体験した東海大星翔高OBチーム



▲買い物をした人には新米のおにぎりやだご汁を配布

甲佐の秋の味覚が出そろそろ

ろくじ館で「おいしい大収穫祭」を開催

11月2日（日）町農業研修センターで、「ろくじ館のおいしい大収穫祭」が開催されました。本町産の野菜や特産品を使った食品などをPRするために、甲佐町青空市場運営委員会（堀住キミ子委員長）が主催。会場には、野菜や果物の直売、手作りこんにゃく、揚げたてのイモ天、「にらメンコ」などの特産品販売のブースが並び、たくさんの方でにぎわいました。買い物の後にはだご汁と新米のおにぎりが配布され、家族連れなどが甲佐の秋の味覚を堪能。来場した60代の女性は「新鮮な野菜や食品がたくさんあるのがよかった。だご汁もおいしかったです」と話しました。

緑川活用でまちづくり

第3回甲佐地区かわまちづくり協議会

11月13日（木）町生涯学習センターで甲佐地区かわまちづくり協議会が開催されました。

同協議会は、緑川の水辺空間を生かして地域の活性化および治水上河川利用の安全性向上を図る目的として、地域住民や利用者などが主体となって国や町とともに、具体的な整備や利活用法を計画するもの。7月に同協議会は立ち上げられ、第3回は、安津橋上流左岸の空き地利活用について協議しました。

今後も協議を重ね、来年春には具体的な活用計画を策定する予定です。



▲緑川周辺の水辺空間を利用したまちづくり計画を協議



▲町消防団員と一緒にもちつきをする園児たち

防火もちつきで火災予防

町消防団と若草保育園幼年消防クラブ

11月13日（木）若草保育園（元村伴子園長89人）で「防火もちつき」が行われました。同イベントは、秋の全国火災予防週間に合わせて、町消防団（上野浩信団長512人）が幼年消防クラブのある同園で開催。団員とのもちつきを通して、消防団活動への理解と協力、火災予防への呼び掛けなどを目的に、本部役員や保護者なども参加して実施。園児たちは大きな掛け声とともにきねを振り上げ、火災予防を願いもちをつきました。つき上がったもちは、町内の福祉施設などに本部役員とともに届け、「火遊びは絶対にしません」と宣言して手渡しました。

県高校駅伝で優勝に貢献

梅本祥太競技者（和田内区・九州学院高3年）



▲12月21日（日）に開催される全国大会への出場が決まり健闘が期待される九州学院高で、主将としてチームをまとめる梅本祥太競技者

11月1日（土）熊本市の県民総合運動公園周辺などで県高校駅伝大会が開催され、梅本祥太競技者（和田内区・九州学院高3年）が出場して活躍し、九州学院高が優勝しました。

同競技者は、同高のアンカーとして疾走し、5.00kmのコースを15分00秒と区間1位のタイムでゴール。日ごろの練習の成果を発揮しました。

大会結果は、同高が2位に4分29秒の大差を付ける2時間6分27秒のタイムで、10年連続30度目の優勝を果たしました。

同競技者は、6月に沖縄県で開催された南九州高校陸上競技大会の3,000m障害走で、9分15秒85のタイムで3位に入賞。その後インターハイにも出場するなど素晴らしい成績を残しています。

同高は、12月21日（日）に京都府で開催される第65回全国高等学校駅伝競走大会への出場が決まり、主将を務める梅本競技者は、「高校最後の大会になると思うので、積極的なレースができるようにチームを盛り上げたいです」と意気込みを語りました。